

本稿は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2011年4月27日に発表した2011年度第1四半期経営報告書の日本語訳です。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と英文リリースとの間で齟齬がある場合には英文リリースが優先します。なお、英文リリースは、<http://group.barclays.com/Investor-Relations/Financial-results-and-publications/Results-announcements> よりご覧いただけます。

## バークレイズ・ピーエルシー - 2011年度第1四半期経営報告書

「2011年、当グループは、厳しい外部環境の中、好調な滑り出しを切ることができました。2011年第1四半期も引き続き堅調な利益を確保し、コア Tier1 比率は11%とさらに上昇しました。経営面においては戦略的優先事項に沿って順調に執行・進展しています。第1四半期においては、引き続きコストとリスクを慎重に管理し、株主資本利益率と有形株主資本利益率(当グループ自身の信用度に関する部分を除く)はそれぞれ10%と12%を超えました。

バークレイズは、英国を含め、世界の政府や規制機関との金融改革に関する協議に引き続き積極的に関与しています。変革プロセスを後押しすることに強い決意で臨み、金融機関の破綻リスクの抑制という目的に沿って行動しています。破綻処理の仕組みの整備は、必要不可欠な銀行サービスを確実に維持しながら銀行の破綻処理を行えるようにする上で、極めて重要な役割を果たすと考えられます。私達は英金融サービス機構(FSA)や金融安定理事会(FSB)だけでなく、G20レベルでの取り組みにも積極的に関与し、国際的な破綻処理の仕組みの考案と導入に向けて寄与しています。

英国独立銀行委員会(ICB)の中間報告書は、多くの課題や疑問を呈しています。同委員会の最終勧告を実施可能なものとし、また、その結果に関する分析が適切に行われるよう、今後数ヶ月はこれらの点を詳しく議論し、細部をより具体的に詰めることが必要となります。当社はこれまでICBと前向きな意見交換を行ってまいりました。当社は、改革の検討項目を定める上で責任ある役割を果たすと同時に、信用力のある個人や企業へアクセスを提供することで、英国経済の成長促進に貢献する決意です。今後もこうした意見交換を継続することは重要な課題であると認識しています」。

グループ最高責任者、ボブ・ダイヤモンド

| 当グループの業績(非監査)                   | 2011年03月31日<br>に終了した3カ月間 | 2010年03月31日<br>に終了した3カ月間 | 増減率(%)     |
|---------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------|
|                                 | (百万ポンド)                  | (百万ポンド)                  |            |
| 保険金控除後の収益合計                     | 7,399                    | 8,065                    | (8)        |
| 減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額            | (921)                    | (1,508)                  | (39)       |
| 営業収益純額                          | 6,478                    | 6,557                    | (1)        |
| 営業費用                            | (4,842)                  | (4,852)                  | -          |
| <b>税引前利益</b>                    | <b>1,655</b>             | <b>1,820</b>             | <b>(9)</b> |
| 当グループ自身の信用度に関連する損失              | 351                      | 102                      | nm         |
| 買収及び売却に係る利益                     | (2)                      | (100)                    | (98)       |
| <b>調整後税引前利益</b>                 | <b>2,004</b>             | <b>1,822</b>             | <b>10</b>  |
| 税引後利益                           | 1,241                    | 1,310                    | (5)        |
| 親会社の株主に帰属する利益                   | 1,012                    | 1,067                    | (5)        |
| 基本的1株当たり利益                      | 8.5 ペンス                  | 9.3 ペンス                  | (9)        |
| 1株当たり配当金                        | 1.0 ペンス                  | 1.0 ペンス                  | -          |
| <b>パフォーマンス指標</b>                |                          |                          |            |
| 平均株主資本利益率                       | 8.1%                     | 8.7%                     | nm         |
| 平均有形株主資本利益率                     | 9.7%                     | 10.7%                    | nm         |
| 平均リスク調整後資産利益率                   | 1.3%                     | 1.3%                     | nm         |
| 収益に対する費用の比率                     | 65%                      | 60%                      | nm         |
| 営業収益純額に対する費用の比率                 | 75%                      | 74%                      | nm         |
| 平均株主資本利益率(当グループ自身の信用度を除く)       | 10.1%                    | 9.3%                     | nm         |
| 平均有形株主資本利益率(当グループ自身の信用度を除く)     | 12.1%                    | 11.4%                    | nm         |
| 平均リスク調整後資産利益率(当グループ自身の信用度を除く)   | 1.5%                     | 1.4%                     | nm         |
| 収益に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く)     | 62%                      | 59%                      | nm         |
| 営業収益純額に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く) | 71%                      | 73%                      | nm         |
| <b>資本及び貸借対照表</b>                |                          |                          |            |
|                                 | (2011年3月31日現在)           | (2010年12月31日現在)          | 増減率(%)     |
| コア Tier1 比率                     | 11.0%                    | 10.8%                    | nm         |
| リスク調整後資産                        | 3,920 億ポンド               | 3,980 億ポンド               | (2)        |
| 調整後グロス・レバレッジ                    | 20x                      | 20x                      | nm         |
| グループ余剰流動性                       | 1,610 億ポンド               | 1,540 億ポンド               | 5          |
| 1株当たり純資産価額                      | 414 ペンス                  | 417 ペンス                  | (1)        |
| 1株当たり正味有形資産価額                   | 344 ペンス                  | 346 ペンス                  | (1)        |
| グループ貸付金・預り金比率                   | 119%                     | 124%                     | nm         |

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書

### 業績ハイライト

- 当グループ自身の信用度並びに買収及び売却に係る利益を除いた調整後税引前利益は前年同期比 10%増の 20 億 400 万ポンド(2010 年:18 億 2,200 万ポンド)。税引前利益は前年同期比 9%減の 16 億 5,500 万ポンド(2010 年:18 億 2,000 万ポンド)
- リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門の税引前利益は前年同期比 21%増の 6 億 9,200 万ポンド(2010 年:5 億 7,000 万ポンド)
- 当グループ自身の信用度に関連する費用 3 億 5,100 万ポンド(2010 年:1 億 200 万ポンド)控除後の収益合計は前年同期比 8%減の 73 億 9,900 万ポンド(2010 年:80 億 6,500 万ポンド)
- パークレイズ・キャピタルのトップライン収益は前年同期比 15%減の 32 億 7,800 万ポンド(2010 年:38 億 4,500 万ポンド)。債券、為替及びコモディティ事業(FICC)が前年同期比 22%減少し、株式及びプライム・サービス事業は 11%増加、インベストメント・バンキング事業は 10%増加したのを反映
- 減損は 39%減の 9 億 2,100 万ポンド(2010 年:15 億 800 万ポンド)で、プロティアム社向け貸付金に対する減損引当金の 1 億 9,000 万ポンドの戻入れを含め、年初来の年率換算した貸倒比率は 76 ベーシス・ポイント(2010 年:112 ベーシス・ポイント)
- 営業収益純額(当グループ自身の信用度に関連するものを除く)は前年同期比 3%増の 68 億 2,900 万ポンド(2010 年:66 億 5,900 万ポンド)。営業収益純額は 1%減の 64 億 7,800 万ポンド(2010 年:65 億 5,700 万ポンド)
- 営業費用は事業再編費用 6,900 万ポンド(2010 年:7,700 万ポンド)を含め 48 億 4,200 万ポンド(2010 年:48 億 5,200 万ポンド)
- 平均株主資本利益率(当グループ自身の信用度に関連するものを除く)は 10.1%(2010 年:9.3%)、平均有形株主資本利益率(当グループ自身の信用度に関連するものを除く)は 12.1%(2010 年:11.4%)
- コア Tier1 比率は 11.0%(2010 年:10.8%)
- 2011 年 1 月から 3 月に 120 億ポンドのタム物資金を調達し、高水準の流動性ポジションを維持
- 第 1 四半期配当金は 1 株当たり 1.0 ペンス
- 英国における個人及び企業向け新規融資総額は 99 億ポンド(2010 年:90 億ポンド)

### グループ業績

2011 年 3 月 31 日に終了した 3 ヶ月間の税引前利益は 9%減の 16 億 5,500 万ポンドとなりました(2010 年:18 億 2,000 万ポンド)。収益合計はマクロ経済環境の停滞と当グループ自身の信用度に関連する費用の増加の影響を反映し、8%減の 73 億 9,900 万ポンドとなりました(2010 年:80 億 6,500 万ポンド)。減損費用は 9 億 2,100 万ポンドと 39%減少した(2010 年:15 億 800 万ポンド)一方、営業費用は 48 億 4,200 万ポンドと横ばいでした(2010 年:48 億 5,200 万ポンド)。

調整後税引前利益は 20 億 400 万ポンドと、前年同期の 18 億 2,200 万ポンドと比較して 10%増、前四半期の 12 億 2,800 万ポンドと比べて 63%増となりました。

| 事業部門別税引前利益                       | 2011 年 3 月 31 日に<br>終了した 3 ヶ月間 |            | 2010 年 3 月 31 日に<br>終了した 3 ヶ月間 |            | 増減率(%)     |
|----------------------------------|--------------------------------|------------|--------------------------------|------------|------------|
|                                  | 百万ポンド                          |            | 百万ポンド                          |            |            |
| リテール・アンド・ビジネス・バンキング <sup>1</sup> | 692                            |            | 570                            |            | 21         |
| コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング        | 983                            |            | 1,394                          |            | (29)       |
| ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント         | 70                             |            | 74                             |            | (5)        |
| 本社機能及びその他事業                      | (90)                           |            | (218)                          |            | 59         |
| <b>税引前利益</b>                     | <b>1,655</b>                   |            | <b>1,820</b>                   |            | <b>(9)</b> |
| 地域セグメント別収益                       | 百万ポンド                          | %          | 百万ポンド                          | %          |            |
| 英国 <sup>2</sup>                  | 3,038                          | 41         | 3,151                          | 39         |            |
| 欧州 <sup>2</sup>                  | 946                            | 13         | 1,240                          | 15         |            |
| 米州                               | 1,864                          | 25         | 2,201                          | 27         |            |
| アフリカ及び中東 <sup>3</sup>            | 1,239                          | 17         | 1,184                          | 15         |            |
| アジア <sup>3</sup>                 | 312                            | 4          | 289                            | 4          |            |
| <b>保険金控除後の収益合計</b>               | <b>7,399</b>                   | <b>100</b> | <b>8,065</b>                   | <b>100</b> |            |

1 リテール・アンド・ビジネス・バンキングは英国リテール・バンキング、西ヨーロッパ・リテール・バンキング、アブサ、パークレイズ・アフリカ、パークレイカードで構成。英国リテール・バンキングと西ヨーロッパ・リテール・バンキングはそれぞれ英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング、ヨーロッパ・リテール・アンド・ビジネス・バンキングに名称を変更。

2 アイルランドに関連する収益 2,400 万ポンド(2010 年:2,400 万ポンド)は現在、欧州に含まれる。以前は英国及びアイルランドに含まれていた。比較数値は修正再表示されている。

3 中東に関連する収益 7,600 万ポンド(2010 年:9,700 万ポンド)は現在、アフリカ及び中東に含まれる。以前はアジアに含まれていた。比較数値は修正再表示されている。

### 資本及び流動性

2011 年 3 月 31 日現在の当グループのコア Tier1 比率は、11.0%となりました(2010 年 12 月 31 日:10.8%)。リスク調整後資産は 60 億ポンド減少し、3,920 億ポンドとなりました(2010 年 12 月 31 日:3,980 億ポンド)。資産合計は 2010 年度末から 20 億ポンド増加し、1 兆 4,920 億ポンドとなりました(2010 年 12 月 31 日:1 兆 4,900 億ポンド)。1 株当たり純資産価額は 414 ペンス(2010 年 12 月 31 日:417 ペンス)、1 株当たり正味有形資産価額は 344 ペンス(2010 年 12 月 31 日:346 ペンス)でした。

2011 年 3 月 31 日現在の調整後グロス・レバレッジは、20 倍でした。第 1 四半期の各月末の調整後グロス・レバレッジは、通常のトレーディング業務の結果を受けて 20 倍から 22 倍の間で変動しました。株主資本に対する資産合計の比率は 24 倍で、第 1 四半期の各月末の同比率は 24 倍から 25 倍の間で変動しました。

2011 年 3 月 31 日現在の当グループの余剰流動性は 1,610 億ポンドで(2010 年 12 月 31 日:1,540 億ポンド)、うち 1,470 億ポンドは英金融サービス機構(FSA)適格資産残高でした(2010 年 12 月 31 日:1,400 億ポンド)。第 1 四半期に当グループはターム物資金を約 120 億ポンド調達しました。2011 年 3 月 31 日現在、当グループの 2011 年中に契約上の満期を迎える公募債発行残高は 200 億ポンドでした(2010 年 12 月 31 日:2011 年中に満期を迎える残高 250 億ポンド)。

### リターン

当グループ自身の信用度に関する損益を除いた平均株主資本利益率は 10.1%(2010 年:9.3%)、平均有形株主資本利益率は 12.1%(2010 年:11.4%)へとそれぞれ上昇しました。当グループ自身の信用度に関する損益を含めた平均株主資本利益率は 8.1%(2010 年:8.7%)、平均有形株主資本利益率は 9.7%(2010 年:10.7%)にそれぞれ低下しました。

当グループは当四半期において、収益性の向上に向けて様々な戦略的取り組みを実施しました。パークレイズ・キャピタルでは、信用市場に対するエクスポージャーが全体で 16 億 4,700 万ドル減少し 353 億 5,000 万ドルとなりました。これにはプロティアム社向け貸付金の 6 億 3,600 万ドルの減少分が含まれています。当グループは 3 月に、クレクサス・インベストメント社への不動産ローン 5 億 8,600 万ドルの売却を発表しました。4 月にはプロティアム社からさらに 5 億 7,200 万ドルの元金返済を受け、当グループは本日、プロティアム社向け貸付金の再編を発表しました。

リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門では、英国における支店を拠点としたファイナンシャル・プランニング関連事業からの撤退を決定しました。また、2011 年末までにアブサとパークレイズ・アフリカをヨハネスブルグの 1 つの地域センターに集約することを決定しました。当グループのコスト削減計画は全ての事業の営業費用に効果をもたらしました。コスト削減計画は、2011 年度に年間で総額 5 億ポンドの費用(事業再編費用考慮後は 2 億 5,000 万ポンド)を削減する目標の達成に向けて順調に進捗しています。

### 収益成長

多くの主要市場で厳しい経済情勢が続く中、当グループ全体の第 1 四半期の収益パフォーマンスは好調な滑り出しを切ることができました。当グループ自身の信用度に関する損益を除いた営業収益純額は 3%増の 68 億 2,900 万ポンドとなりました(2010 年:66 億 5,900 万ポンド)。コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング部門では、パークレイズ・キャピタルの株式及びプライム・サービス事業とインベストメント・バンキング事業の収益の伸びが債券、為替及びコモディティ事業(FICC)の前年同期比での収益の落ち込みを一部相殺しました。

リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門では、エッグ社の英国クレジットカード資産の取得に合意しました。同資産のクレジットカード口座件数は 115 万件、受取債権総額は約 23 億ポンドです。また、パークレイズは MBNA ヨーロッパ・バンク社の英国中小企業向けカード事業部門の買収を発表しました。同資産の口座件数は約 6 万件、融資残高は約 1 億 3,000 万ポンドです。

パークレイズ・ウェルス部門の戦略的投資計画は引き続き順調に進展しており、収益面と顧客サービス面の双方に効果が現れ始めています。

### よき企業市民として

パークレイズは 2 月に他の金融機関とともに、英国政府と英国主要銀行が連携して経済回復に取り組むことを明確に示した合意書「Project Merlin」に署名しました。このプロジェクトは企業への貸出、報酬及び情報開示、経済成長支援という 3 つの重要分野への注力に重点が置かれています。

2011 年度第 1 四半期、パークレイズ及び他の参加銀行は、2010 年 10 月に設立された「ビジネス・ファイナンス・タスクフォース」の報告の実施に関し、大きな進展を遂げました。これらの取り組みは、有望なビジネスが確実に持続可能な資金調達を確保することを支援、促進することを目的としています。タスクフォースからは、ビジネスが資金調達を確保し、最良の選択を行うための公平な情報を入手できるワンストップ・ショップ方式のウェブサイト(www.BetterBusinessFinance.co.uk)の開設などが提言、制定されました。またタスクフォースは、銀行の貸出決定に不満を抱く経営者が訴えを起こせるよう新たなプロセス(一連の地域イベント及び全国的ビジネス・メンタリング・スキーム)を導入しました。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書

このほか、タスクフォースの提言によってビジネス・グロース・ファンドが創設されました。同ファンドは売上高が 1,000 万ポンドから 1 億ポンド規模のビジネスの成長支援を目的として創設され、1 社あたり 200 万ポンドから 1,000 万ポンドを投資し、その対価として最低 10 パーセントの株式と取締役の 1 名の座を取得する予定です。

### 事業部門別業績

#### リテール・アンド・ビジネス・バンキング

リテール・アンド・ビジネス・バンキング部門の税引前利益は 21%増の 6 億 9,200 万ポンドでした(2010 年:5 億 7,000 万ポンド)。これにはリテール・アンド・ビジネス・バンキングに計上されるようになったアブサの税引前利益 1 億 3,500 万ポンドが含まれています(2010 年:1 億 6,700 万ポンド)。アブサを除くと、税引前利益は 38%増の 5 億 5,700 万ポンドでした(2010 年:4 億 300 万ポンド)。新規事業の伸びが顧客の返済の増加によって相殺され、収益は 32 億 5,100 万ポンドと横ばいでした(2010 年:32 億 4,800 万ポンド)。適切なリスク管理効果により減損費用は 29%減少して 6 億 5,900 万ポンドとなり(2010 年:9 億 2,700 万ポンド)、営業収益純額が改善しました。営業費用は 3%増の 19 億 1,800 万ポンドとなりました(2010 年:18 億 6,300 万ポンド)。リテール・アンド・ビジネス・バンキングのアブサ以外の事業の営業費用は 3%減少しましたが、2010 年度にアブサの年金基金の利益を認識するために一度限りの収益を計上していたことを反映しています。

リテール・アンド・ビジネス・バンキングの各事業部門の業績は以下のとおりです:

| 事業部門別税引前利益          | 2011 年 3 月 31 日に<br>終了した3か月間 | 2010 年 3 月 31 日に<br>終了した3か月間 | 増減率(%) |
|---------------------|------------------------------|------------------------------|--------|
|                     | 百万ポンド                        | 百万ポンド                        |        |
| 英国 <sup>1</sup>     | 288                          | 238                          | 21     |
| 欧州 <sup>1</sup>     | (59)                         | 17                           | nm     |
| アフリカ <sup>1</sup>   | 167                          | 197                          | (15)   |
| - アブサ               | 135                          | 167                          | (19)   |
| - パークレイズ・アフリカ       | 32                           | 30                           | 7      |
| パークレイカード            | 296                          | 118                          | 151    |
| リテール・アンド・ビジネス・バンキング | 692                          | 570                          | 21     |

- 英国の税引前利益は減損費用の大幅な減少を受けて 21%増の 2 億 8,800 万ポンドとなりました(2010 年:2 億 3,800 万ポンド)。収益は概ね前年同期と同水準で、純金利マージンは安定的に推移しました。モーゲージ残高は好調な伸びを示しました。信用リスク管理が奏功し、減損費用はポートフォリオ全般にわたり前年同期比で減少しました。営業費用は引き続き適切に管理され、前年同期に比べて減少しました。この結果、リスク調整後資産に対する利益率は目標を上回る水準に改善しました。
- 欧州は当四半期において 5,900 万ポンドの税引前損失を計上しました(2010 年:1,700 万ポンドの利益)。事業再編費用の 3,400 万ポンドと、2010 年度にシティ・グループのイタリアのカード事業を買収したことにより 2,900 万ポンドの利益を計上していたことが前年同期比で減少した主因です。基礎的な収益は為替変動の悪影響で 3%減少しましたが、それ以外は横ばいでした。減損費用は前年同期比では横ばいでしたが、2010 年第 4 四半期からは大幅に減少しました。2011 年度の事業再編費用と 2010 年度を通じた営業基盤開拓のための投資が響き営業費用は増加しました。
- アフリカの税引前利益は、15%減の 1 億 6,700 万ポンドでした(2010 年:1 億 9,700 万ポンド)。
  - アブサの税引前利益は 19%減の 1 億 3,500 万ポンドでした(2010 年:1 億 6,700 万ポンド)。為替変動がプラス要因となり、主力事業の業績も改善しましたが、2010 年度に当グループの年金基金の利益を認識するために一度限りの収益 5,400 万ポンドを計上していたことにより相殺されました。2010 年度の一度限りの収益を除くと、為替変動の影響、収益の伸び、持続的な経済回復による減損費用の大幅な減少を背景に、税引前利益は前年同期比 19%増となりました。為替変動とインフレ圧力を反映して営業費用は増加しました。
  - パークレイズ・アフリカの税引前利益は、7%増の 3,200 万ポンドでした(2010 年:3,000 万ポンド)。営業費用が適切に管理され、減損費用も減少しましたが、エジプト情勢を受けた収益の減少と全体的なバランスシートの縮小によって一部相殺されました。
- パークレイカードの税引前利益は 151%増の 2 億 9,600 万ポンドでした(2010 年:1 億 1,800 万ポンド)。収益は概ね前年同期と同水準でした。新規事業の伸びが純金利マージンの低下と顧客の返済の増加によって相殺されました。減損費用は適切なリスク管理と顧客動向を反映して大幅に減少しました。英国と米国で 30 日以上延滞率が引き続き改善し、リスク調整後マージンは 185 ベーシス・ポイント上昇しました。営業費用はコスト管理の重点的な取り組みにより前年同期に比べて減少しました。

<sup>1</sup> リテール・アンド・ビジネス・バンキングはリテール・バンキング及びアブサを統合した名称。英国リテール・バンキング及び西ヨーロッパ・リテール・バンキングの現在の名称はそれぞれ英国及び欧州。アブサ及びパークレイズ・アフリカを統合した現在の名称はアフリカ。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書

### コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング

| 税引前利益(事業別)                          | 2011 年 3 月 31 日      | 2010 年 3 月 31 日      | 増減率 (%)     |
|-------------------------------------|----------------------|----------------------|-------------|
|                                     | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド |             |
| パークレイズ・キャピタル(当グループ自身の信用度に関連する損益を除く) | 1,333                | 1,571                | (15)        |
| 当グループ自身の信用度に関連する損益                  | (351)                | (102)                | nm          |
| パークレイズ・キャピタル                        | 982                  | 1,469                | (33)        |
| パークレイズ・コーポレート                       | 1                    | (75)                 | nm          |
| <b>コーポレート・アンド・インベストメント・バンキング</b>    | <b>983</b>           | <b>1,394</b>         | <b>(29)</b> |

- パークレイズ・キャピタル**の 2011 年第 1 四半期の当グループ自身の信用度に関連する損益を除く税引前利益は 13 億 3,300 万ポンド(2010 年:15 億 7,100 万ポンド)でした。当グループ自身の信用度に関連する損失 3 億 5,100 万ポンド(2010 年:損失 1 億 200 万ポンド)により税引前利益は、9 億 8,200 万ポンドに減少しました(2010 年:14 億 6,900 万ポンド)。当グループ自身の信用度に関連する損益を除く収益合計は 2010 年第 1 四半期比 14%減、2010 年第 4 四半期比 4%減の 33 億 6,600 万ポンドとなりました(2010 年:38 億 9,500 万ポンド)。これはトップライン収益 32 億 7,800 万ポンド(2010 年:38 億 4,500 万ポンド)及び信用市場に関連する収益の 8,800 万ポンドへの増加(2010 年:5,000 万ポンド)を反映しています。

| 収益合計の内訳                            | 2011 年 3 月 31 日      | 2010 年 3 月 31 日      | 増減率 (%)     |
|------------------------------------|----------------------|----------------------|-------------|
|                                    | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド |             |
| 債券、為替及びコモディティ(FICC)                | 2,113                | 2,695                | (22)        |
| 株式及びプライム・サービス                      | 545                  | 493                  | 11          |
| インベストメント・バンキング                     | 612                  | 556                  | 10          |
| プリンシパル・インベストメント                    | 8                    | 101                  | (92)        |
| <b>トップライン収益</b>                    | <b>3,278</b>         | <b>3,845</b>         | <b>(15)</b> |
| 信用市場に関連する収益                        | 88                   | 50                   | 76          |
| <b>収益合計(当グループ自身の信用度に関連するものを除く)</b> | <b>3,366</b>         | <b>3,895</b>         | <b>(14)</b> |

債券、為替及びコモディティ事業(FICC)のトップライン収益は、前年同期比 22%減の 21 億 1,300 万ポンドとなりました。債券業務の収益が減少しましたが、これは第 1 四半期に過去最高に達した顧客取引高の恩恵を受けた為替及びコモディティ業務のパフォーマンス改善により部分的に相殺されました。株式及びプライム・サービス事業のトップライン収益は、株式デリバティブ及びエクイティ・ファイナンス業務のパフォーマンスが改善したことから、前年同期比 11%増の 5 億 4,500 万ポンドとなりました。インベストメント・バンキング事業のトップライン収益は、株式引受、投資顧問業務の好調なパフォーマンスを反映して、前年同期比 10%増の 6 億 1,200 万ポンドでした。

当グループ自身の信用度に関連する損益を除く営業収益純額は前年同期比 6%減の 33 億 9,700 万ポンドとなりました。収益合計の減少は減損引当金の戻入れ 3,100 万ポンド(2010 年:繰入れ 2 億 6,800 万ポンド)で部分的に相殺されました。プロティアム社向け貸付金に係る減損引当金の戻入れ 1 億 9,000 万ポンドは主としてレパレジド・ファイナンス及び ABS CDO スーパーシニアに対するエクスポージャーに係る費用で相殺されました。営業費用は前年同期とほぼ同水準でした。当グループ自身の信用度に関連する損益の影響を除いた営業収益純額に対する費用の比率は 61%、収益に対する報酬の比率は 44%となりました。

- パークレイズ・コーポレート**の税引前利益は、100 万ポンド(2010 年:税引前損失 7,500 万ポンド)でした。英国及びその他地域におけるパフォーマンスが改善しましたが、欧州における損失拡大がこれを部分的に相殺しました。

| 税引前利益(地域別)           | 2011 年 3 月 31 日      | 2010 年 3 月 31 日      | 増減率 (%)   |
|----------------------|----------------------|----------------------|-----------|
|                      | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド | に終了した 3 ヶ月間<br>百万ポンド |           |
| 英国 <sup>1,2</sup>    | 208                  | 158                  | 32        |
| 欧州 <sup>1,2</sup>    | (192)                | (70)                 | (174)     |
| その他地域 <sup>1</sup>   | (15)                 | (163)                | 91        |
| <b>パークレイズ・コーポレート</b> | <b>1</b>             | <b>(75)</b>          | <b>nm</b> |

- 英国**の税引前利益は、前年同期比 32%増の 2 億 800 万ポンドとなりました(2010 年:1 億 5,800 万ポンド)。減損費用は 58%減少し、基礎的な収益パフォーマンスは堅調でした。
- 欧州**の税引前損失は、スペインにおける減損費用増加を主因に、1 億 9,200 万ポンドに増加しました(2010 年:7,000 万ポンド)。市場環境悪化が引き続き一部個別企業のケースに影響を及ぼしましたが、減損費用は 2010 年度第 2 四半期のピークを大幅に下回る水準にとどまっています。

1 英国及びアイルランド、欧州大陸及び新市場の区分は、それぞれ英国、欧州及びその他地域に変更されています。これまで英国及びアイルランドに含まれていたアイルランドの税引前利益 500 万ポンド(2010 年:500 万ポンド)は、当四半期経営報告より欧州に含まれています。

2 イタリアを本拠とする IVECO(税引前損失のうち 500 万ポンドを占める)の地域区分が英国から欧州に移行したことを反映するため、2010 年の数値は修正されています。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書

- その他地域の税引前損失は 1,500 万ポンドに減少しました(2010 年:1 億 6,300 万ポンド)。**減損費用は、ポートフォリオのリスク・プロファイル引き下げに向けた経営陣の取り組みを反映して、1,100 万ポンドへと顕著な減少を示しました(2010 年:4,700 万ポンド)。主に 2010 年度に発生した事業再編費用が当期に発生しなかったこと、またその事業再編のその後もたらした効果により、当第1四半期は費用が減少しました。パークレイズ・バンク・ロシアの売却プロセスは現在発表されている予定通りに進捗しています。

### ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント

| 税引前利益(事業別)                      | 2011 年 3 月 31 日    | 2010 年 3 月 31 日    | 増減率(%)     |
|---------------------------------|--------------------|--------------------|------------|
|                                 | に終了した3ヶ月間<br>百万ポンド | に終了した3ヶ月間<br>百万ポンド |            |
| パークレイズ・ウェルス                     | 46                 | 45                 | 2          |
| インベストメント・マネジメント                 | 24                 | 29                 | (17)       |
| <b>ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント</b> | <b>70</b>          | <b>74</b>          | <b>(5)</b> |

- パークレイズ・ウェルスの税引前利益は前年同期比 2%増の 4,600 万ポンドとなりました。**富裕層事業が収益の 14%という力強い伸びを牽引しました。パークレイズ・ウェルスは戦略的投資プログラムを継続し、2011 年度の投資費用は 1,700 万ポンドとなりました(2010 年:700 万ポンド)。顧客資産は 1%増の 1,660 億ポンドとなりました。
- インベストメント・マネジメントの税引前利益は、主に当社グループが株式を保有するブラックロック社からの受取配当金を反映して、2,400 万ポンドとなりました(2010 年:2,900 万ポンド)。**ブラックロック社の保有株式 3,756 万 7,000 株の価値は 2011 年 3 月 31 日現在で 47 億ポンドとなっております(2010 年 12 月 31 日現在:46 億ポンド)。この投資に係る売却可能投資再評価差額はマイナス 7 億ポンドに回復し(2010 年 12 月 31 日現在:マイナス 9 億ポンド)、すでに当グループのコア Tier1 自己資本比率に反映されています。

### 本社機能及びその他事業

本社機能及びその他事業の税引前損失は、主として内部取引のタイミング及び営業費用の減少を反映して、1 億 2,800 万ポンド減の 9,000 万ポンドとなりました(2010 年:損失 2 億 1,800 万ポンド)。

### 減損費用

| 当グループの減損費用及びその他信用関連引当金繰入額          | 2011 年 3 月 31 日    | 2010 年 3 月 31 日    |
|------------------------------------|--------------------|--------------------|
|                                    | に終了した3ヶ月間<br>百万ポンド | に終了した3ヶ月間<br>百万ポンド |
| 貸付金に係る減損費用及びその他信用関連引当金繰入額          | 944                | 1,434              |
| 売却可能資産及びリバース・レボ取引に係る減損引当金(戻入れ)／繰入額 | (23)               | 74                 |
| <b>減損費用及びその他信用関連引当金繰入額</b>         | <b>921</b>         | <b>1,508</b>       |
| <b>年率換算貸倒比率(ベース・ポイント)</b>          | <b>76</b>          | <b>112</b>         |

2011 年度第 1 四半期の減損費用及びその他信用関連引当金繰入額は 9 億 2,100 万ポンドへと大きく改善しました(2010 年:15 億 800 万ポンド)。貸付金に係る減損費用は前年同期比 34%減の 9 億 4,400 万ポンドでした(2010 年:14 億 3,400 万ポンド)。第 1 四半期の年率換算貸倒比率は 76 ベース・ポイントに低下しました(2010 年:112 ベース・ポイント)。

貸付金に係る減損費用の減少は、主として以下における費用減少を反映したものです。

- ホールセール・ポートフォリオ:** 減損費用は 3 億 1,000 万ポンドに減少しました(2010 年:5 億 900 万ポンド)。裏付けとなる資産の価値増大を受けて、プロティアム社向け貸付金に対する減損引当金を 1 億 9,000 万ポンド戻入れましたが、市場における信用状況が引き続き脆弱だったことを反映したパークレイズ・コーポレート・欧州大陸事業部門の減損費用増加で部分的に相殺されました。
- リテール・ポートフォリオ:** 減損費用は、担保付及び無担保ポートフォリオの大半においてパフォーマンスが引き続き改善したことを反映して、6 億 3,400 万ポンドに減少しました(2010 年:9 億 2,500 万ポンド)。

売却可能資産及びリバース・レボ取引に係る減損引当金の戻入れは 2,300 万ポンドでした(2010 年:7,400 万ポンドの繰入額)。

パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーに係る減損費用合計は 2010 年度第 1 四半期の 1 億 9,100 万ポンドの繰入額から 3,100 万ポンドの戻入れに減少しました。プロティアム社向け貸付金に係る減損引当金の一回限りの戻入れ 1 億 9,000 万ポンド(プロティアム社資産の価値の更なる変動はトレーディング収益に計上)は主としてレバレッジド・ファイナンス及び ABS CDO スーパーシニアに対するエクスポージャーに係る減損費用繰入額で相殺されました。

リスク管理の詳細情報につきましては別紙 2 を、パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーの詳細情報につきましては別紙 3 をご覧ください。

### その他の事項

支払補償保険 (PPI) の販売に関する司法審査手続きの結果、2011 年 4 月 20 日に、英国 FSA 及び金融オンブズマン・サービスの主張を認める判決が下されました。司法審査手続きが終了するまでは、上訴が行われた場合の結果や、銀行における苦情の取扱い・改善の慣行への正確な影響などを含め、財務的な影響について信頼に足る見積りを行うことはできません。現在、英国銀行協会の会員により、この判決の影響と上訴を行った場合のメリットについて検討がなされています。

2010 年度決算報告時にもお伝えしましたが、当グループはプロティアム社向け貸付金の条件について再交渉を目指しております。2011 年 4 月に、当グループはプロティアム社に対する発行済財務持分の購入に同意し、現在はその管理方法について再交渉を進めているところです。この取得は当グループのプロティアム社に対するエクスポージャーを早期に解消する上で有効だと考えており、ひいては全体的な収益性の改善にもつながるものです。今回の件に絡む特別損益又はのれんは発生しない見込みです。詳しくは 2010 年度決算報告時にもお伝えしましたが、当グループはプロティアム社向け貸付金の条件について再交渉を目指しております。2011 年 4 月に、当グループはプロティアム社に対する発行済財務持分の購入に同意し、現在はその管理方法について再交渉を進めているところです。この取得は当グループのプロティアム社に対するエクスポージャーを早期に解消する上で有効だと考えており、ひいては全体的な収益性の改善にもつながるものです。今回の件に絡む特別損益又はのれんは発生しない見込みです。詳しくは 13 ページの別紙 3 をご参照ください。

英国 FSA、米国商品先物取引委員会、米国証券取引委員会及び米国司法省により、LIBOR 金利の設定を行う英国銀行協会に対しパークレイズが過去に提出した資料等に関し、調査が進められています。当グループはこれらの当局による調査に協力し、関連監督当局に情報提供を行っております。現在様々な調査が進められており、本件の最終的な解決の時期や当グループへの影響の度合いについては、現時点では予測不可能です。

英国の銀行課税 (まだ法制化されていません) の影響は、一般に公正妥当と認められる会計原則に従い、今回の業績には反映されていません。2011 年度第 1 四半期に帰属する金額は約 1 億ポンドとなる見込みです。

### 配当

四半期ベースで配当を実施するのが当グループの方針です。2011 年度第 1 四半期配当金については 1 株当たり 1.0 ペンスを 2011 年 6 月 10 日付でお支払いいたします。

### 現行取引状況

4 月に入ってからのこれまでの業績は、第 1 四半期のトレンドを継続するものとなっており、依然として 2011 年の市場コンセンサスの見通しを好感しています。第 1 四半期の減損の改善には、プロティアム社向け貸付金に関する引当金の戻入れ 1 億 9,000 万ポンドが含まれています。従って、通年でこの改善ペースが続くことは見込まれていません。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書

---

### 財務カレンダー

#### イベント

#### 日程

---

|                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 配当権利落日             | 2011 年 5 月 4 日  |
| 配当権利確定日            | 2011 年 5 月 6 日  |
| 配当支払日              | 2011 年 6 月 10 日 |
| 2011 年度中間経営報告      | 2011 年 8 月 2 日  |
| 2011 年度第 3 四半期経営報告 | 2011 年 11 月 1 日 |

### お問い合わせ先

#### インベスター・リレーションズ

#### メディアからのお問い合わせ

Stephen Jones  
+44 (0) 20 7116 5752

Howell James / Giles Croot  
+44 (0) 20 7116 6060 / 6132

バークレイズについてのさらに詳しい情報は当社ウェブサイトで閲覧することができます。ウェブサイトのアドレスは次の通りです。

[www.barclays.com/investorrelations](http://www.barclays.com/investorrelations)

### 注記

- 別途記載がない限り、損益計算書の分析では、2011 年 3 月 31 日までの 3 ヶ月間を、2010 年の同 3 ヶ月間と比較していません。貸借対照表は、別途記載がない限り、2010 年 12 月 31 日現在における対応する残高と比較しています。
- 本期中経営報告書が依拠している財務情報並びに本報告書の別紙に記載されている信用市場に対するエクスポージャー及びその他のデータについては非監査の数値情報であり、2010 年度年次報告書において記載されている、パークレイズが以前発表した会計方針に基づいて作成されています。また、用語集も 2010 年度年次報告書に記載されています。
- 米国及びカナダ居住で配当受取資格を有する ADR 保有者に関しては、普通株式 1 株当たり 1 ペンスの期中配当金は、ADS1 株(普通株式 4 株に相当します)当たり 4 ペンスとなります。2011 年 5 月 6 日現在で登録されている ADR 保有者に対して、ADR 預託会社が 2011 年 6 月 10 日に期中配当金を郵送します。
- 株主は、パークレイズ配当金再投資制度(「DRIP」)への参加により、配当金をパークレイズ・ピーエルシーの株式に再投資することができます。DRIP は、配当金をパークレイズ株式への追加投資に充当する簡単でコスト効率の良い方法です。お申込みに関する情報など詳細については、[www.barclays.com](http://www.barclays.com) をご覧になるか、パークレイズ DRIP のプラン・アドミニストレーター(The Plan Administrator to Barclays DRIP, Share Dividend Team, Aspect House, Spencer Road, Lancing, West Sussex BN99 6DA UK、電話:0871 384 2055\*(英国内から)又は +44 (0)121 415 7004(海外から))までご連絡ください。

\*この電話番号は BT の固定電話をご使用の場合には 1 分当たり 8 ペンスの課金となります。他の電話会社の場合の通話料金はそれとは異なる場合があります。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書 別紙 1 – 四半期業績の概要

| 当グループの業績                           | 2011 年<br>第 1 四半期<br>百万ポンド | 2010 年<br>第 4 四半期<br>百万ポンド | 2010 年<br>第 3 四半期<br>百万ポンド | 2010 年<br>第 2 四半期<br>百万ポンド | 2010 年<br>第 1 四半期<br>百万ポンド |
|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| トップライン収益                           | 7,662                      | 7,965                      | 7,413                      | 7,678                      | 8,117                      |
| 信用市場に関連する利益／(損失)                   | 88                         | 116                        | (175)                      | (115)                      | 50                         |
| <b>保険金控除後の収益合計(当グループ自身の信用度を除く)</b> | <b>7,750</b>               | <b>8,081</b>               | <b>7,238</b>               | <b>7,563</b>               | <b>8,167</b>               |
| 減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額               | (921)                      | (1,374)                    | (1,218)                    | (1,572)                    | (1,508)                    |
| <b>営業収益純額(当グループ自身の信用度を除く)</b>      | <b>6,829</b>               | <b>6,707</b>               | <b>6,020</b>               | <b>5,991</b>               | <b>6,659</b>               |
| 営業費用(リストラ費用を除く)                    | (4,773)                    | (5,277)                    | (4,741)                    | (4,848)                    | (4,775)                    |
| リストラ費用                             | (69)                       | (218)                      | (15)                       | (20)                       | (77)                       |
| <b>営業費用合計</b>                      | <b>(4,842)</b>             | <b>(5,495)</b>             | <b>(4,756)</b>             | <b>(4,868)</b>             | <b>(4,852)</b>             |
| 関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分             | 17                         | 16                         | 9                          | 18                         | 15                         |
| 買収及び売却に係る利益                        | 2                          | 76                         | 1                          | 33                         | 100                        |
| <b>税引前利益(当グループ自身の信用度を除く)</b>       | <b>2,006</b>               | <b>1,304</b>               | <b>1,274</b>               | <b>1,174</b>               | <b>1,922</b>               |
| 当グループ自身の信用度に関連する(損失)／利益            | (351)                      | 487                        | (947)                      | 953                        | (102)                      |
| <b>税引前利益</b>                       | <b>1,655</b>               | <b>1,791</b>               | <b>327</b>                 | <b>2,127</b>               | <b>1,820</b>               |
| 基本的 1 株当たり利益                       | 8.5p                       | 9.1p                       | 0.4p                       | 11.6p                      | 9.3p                       |
| 収益に対する費用の比率                        | 65%                        | 64%                        | 76%                        | 57%                        | 60%                        |
| 営業収益純額に対する費用の比率                    | 75%                        | 76%                        | 94%                        | 70%                        | 74%                        |
| 収益に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く)        | 62%                        | 68%                        | 66%                        | 64%                        | 59%                        |
| 営業収益純額に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く)    | 71%                        | 82%                        | 79%                        | 81%                        | 73%                        |
| <b>パークレイズ・キャピタルの業績</b>             |                            |                            |                            |                            |                            |
| 債券、為替及びコモディティ                      | 2,113                      | 1,915                      | 1,948                      | 2,253                      | 2,695                      |
| 株式及びプライム・サービス                      | 545                        | 625                        | 359                        | 563                        | 493                        |
| インベストメント・バンキング                     | 612                        | 725                        | 501                        | 461                        | 556                        |
| プリンシパル・インベストメント                    | 8                          | 115                        | 19                         | 4                          | 101                        |
| <b>トップライン収益</b>                    | <b>3,278</b>               | <b>3,380</b>               | <b>2,827</b>               | <b>3,281</b>               | <b>3,845</b>               |
| 信用市場に関連する利益／(損失)                   | 88                         | 116                        | (175)                      | (115)                      | 50                         |
| <b>収益合計(当グループ自身の信用度を除く)</b>        | <b>3,366</b>               | <b>3,496</b>               | <b>2,652</b>               | <b>3,166</b>               | <b>3,895</b>               |
| 減損費用戻入／(繰入) – 信用市場                 | 31                         | (299)                      | (11)                       | (120)                      | (191)                      |
| 減損費用戻入／(繰入) – その他                  | -                          | 77                         | (1)                        | 79                         | (77)                       |
| <b>減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額</b>        | <b>31</b>                  | <b>(222)</b>               | <b>(12)</b>                | <b>(41)</b>                | <b>(268)</b>               |
| <b>営業収益純額(当グループ自身の信用度を除く)</b>      | <b>3,397</b>               | <b>3,274</b>               | <b>2,640</b>               | <b>3,125</b>               | <b>3,627</b>               |
| 営業費用                               | (2,067)                    | (2,201)                    | (1,881)                    | (2,154)                    | (2,059)                    |
| 関連会社及び合併会社の税引後損益に対する持分             | 3                          | 2                          | 6                          | 7                          | 3                          |
| <b>税引前利益(当グループ自身の信用度を除く)</b>       | <b>1,333</b>               | <b>1,075</b>               | <b>765</b>                 | <b>978</b>                 | <b>1,571</b>               |
| 当グループ自身の信用度に関連する(損失)／利益            | (351)                      | 487                        | (947)                      | 953                        | (102)                      |
| <b>税引前利益</b>                       | <b>982</b>                 | <b>1,562</b>               | <b>(182)</b>               | <b>1,931</b>               | <b>1,469</b>               |
| 収益に対する費用の比率                        | 69%                        | 55%                        | 110%                       | 52%                        | 54%                        |
| 営業収益純額に対する費用の比率                    | 68%                        | 59%                        | 111%                       | 53%                        | 58%                        |
| 収益に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く)        | 61%                        | 63%                        | 71%                        | 68%                        | 53%                        |
| 営業収益純額に対する費用の比率(当グループ自身の信用度を除く)    | 61%                        | 67%                        | 71%                        | 69%                        | 57%                        |

## 顧客及び銀行に対する貸付金の分析

| 2011 年 3 月 31 日現在         | 貸付金総額<br>百万ポンド | 減損引当金<br>百万ポンド | 減損控除後の<br>貸付金<br>百万ポンド | 減損費用 <sup>1</sup><br>百万ポンド | 貸倒率 <sup>2</sup><br>bp |
|---------------------------|----------------|----------------|------------------------|----------------------------|------------------------|
| ホールセール – 顧客               | 221,207        | 5,392          | 215,815                | 309                        | 57                     |
| ホールセール – 銀行               | 44,567         | 51             | 44,516                 | 1                          | 1                      |
| <b>ホールセール合計</b>           | <b>265,774</b> | <b>5,443</b>   | <b>260,331</b>         | <b>310</b>                 | <b>47</b>              |
| リテール – 顧客                 | 236,064        | 6,664          | 229,400                | 634                        | 109                    |
| <b>リテール合計</b>             | <b>236,064</b> | <b>6,664</b>   | <b>229,400</b>         | <b>634</b>                 | <b>109</b>             |
| <b>貸付金(償却原価により評価)</b>     | <b>501,838</b> | <b>12,107</b>  | <b>489,731</b>         | <b>944</b>                 | <b>76</b>              |
| 貸付金(公正価値で保有)              | 24,820         | n/a            | 24,820                 |                            |                        |
| <b>貸付金合計</b>              | <b>526,658</b> | <b>12,107</b>  | <b>514,551</b>         |                            |                        |
| <b>2010 年 12 月 31 日現在</b> |                |                |                        |                            |                        |
| ホールセール – 顧客               | 204,991        | 5,501          | 199,490                | 2,347                      | 114                    |
| ホールセール – 銀行               | 37,847         | 48             | 37,799                 | (18)                       | (5)                    |
| <b>ホールセール合計</b>           | <b>242,838</b> | <b>5,549</b>   | <b>237,289</b>         | <b>2,329</b>               | <b>96</b>              |
| リテール – 顧客                 | 235,335        | 6,883          | 228,452                | 3,296                      | 140                    |
| <b>リテール合計</b>             | <b>235,335</b> | <b>6,883</b>   | <b>228,452</b>         | <b>3,296</b>               | <b>140</b>             |
| <b>貸付金(償却原価により評価)</b>     | <b>478,173</b> | <b>12,432</b>  | <b>465,741</b>         | <b>5,625</b>               | <b>118</b>             |
| 貸付金(公正価値で保有)              | 24,522         | n/a            | 24,522                 |                            |                        |
| <b>貸付金合計</b>              | <b>502,695</b> | <b>12,432</b>  | <b>490,263</b>         |                            |                        |

<sup>1</sup> 上記減損費用は、2011 年 3 月 31 日に終了した 3 カ月間及び 2010 年 12 月 31 日に終了した 12 カ月間に関するものです。

<sup>2</sup> 2011 年 3 月 31 日までの貸倒率は、年率換算ベースで算出されています。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書 別紙 3 – バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

### バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーは主に商業用不動産、レバレッジド・ファイナンス、及びプロティアム・ファイナンス LP 社 (Protium Finance LP) への貸付金に関連しています。これらのエクスポージャーには、公正価値の変動が損益計算書に計上されるポジション、並びに貸付金及び売却可能に分類されたポジションが含まれます。

下表に示した残高と損益計算書への影響額は 2007 年半ばの市場混乱期間に保有していた信用市場に対するエクスポージャーを表しています。市場の混乱後に取得した同様の資産は、流通市場で活発に取引されているため、この開示から除外しています。

2011 年 3 月 31 日までの資産クラス別の残高、公正価値及び減損の増減は、下表の通りです。

#### 信用市場に対するエクスポージャー<sup>1</sup>

|                            | 2011 年<br>3 月 31 日<br>現在<br>百万ドル | 2010 年<br>12 月 31<br>日現在<br>百万ドル | 2011 年<br>3 月 31 日<br>現在<br>百万ポンド | 2010 年<br>12 月 31<br>日現在<br>百万ポンド | 2011 年 3 月 31 日に終了した<br>3 カ月間 |                        |                        |
|----------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------|------------------------|
|                            |                                  |                                  |                                   |                                   | 公正価値<br>利益/(損失)<br>百万ポンド      | 減損<br>戻入/(繰入)<br>百万ポンド | 合計<br>利益/(損失)<br>百万ポンド |
|                            |                                  |                                  |                                   |                                   |                               |                        |                        |
| <b>米国の住宅モーゲージ</b>          |                                  |                                  |                                   |                                   |                               |                        |                        |
| ABS CDO スーパーシニア            | 2,938                            | 3,085                            | 1,833                             | 1,992                             | -                             | (47)                   | (47)                   |
| その他の米国サブプライムと Alt-A        | 845                              | 1,025                            | 528                               | 662                               | 5                             | 25                     | 30                     |
| <b>商業用モーゲージ</b>            |                                  |                                  |                                   |                                   |                               |                        |                        |
| 商業用不動産ローン及び不動産<br>CMBS     | 11,112                           | 11,006                           | 6,932                             | 7,106                             | 82                            | -                      | 82                     |
| モノライン保険会社保証付 CMBS          | 157                              | 184                              | 98                                | 119                               | -                             | -                      | -                      |
| モノライン保険会社保証付 CMBS          | 8                                | 18                               | 5                                 | 12                                | 33                            | -                      | 33                     |
| <b>その他の信用市場</b>            |                                  |                                  |                                   |                                   |                               |                        |                        |
| レバレッジド・ファイナンス <sup>2</sup> | 7,424                            | 7,636                            | 4,631                             | 4,930                             | -                             | (137)                  | (137)                  |
| SIV、SIV-Lite 及び CDPC       | 592                              | 618                              | 369                               | 399                               | 3                             | -                      | 3                      |
| モノライン保険会社保証付 CLO 及びその他     | 2,026                            | 2,541                            | 1,264                             | 1,641                             | (35)                          | -                      | (35)                   |
| <b>プロティアム社に対する貸付金</b>      | <b>10,248</b>                    | <b>10,884</b>                    | <b>6,393</b>                      | <b>7,028</b>                      | <b>-</b>                      | <b>190</b>             | <b>190</b>             |
| <b>合計</b>                  | <b>35,350</b>                    | <b>36,997</b>                    | <b>22,053</b>                     | <b>23,889</b>                     | <b>88</b>                     | <b>31</b>              | <b>119</b>             |

2011 年 3 月 31 日に終了した四半期において、信用市場に対するエクスポージャーは 18 億 3,600 万ポンド減少して 220 億 5,300 万ポンドとなりました(2010 年 12 月 31 日現在: 238 億 8,900 万ポンド)。減少の内訳は、純売却額、返済、及びその他の変動によるものが 14 億 6,800 万ポンド、主として米ドルの対英ポンド安を反映した為替変動によるものが 4 億 8,700 万ポンドでした。この減少は、公正価値の上昇による利益合計と減損の戻入 1 億 1,900 万ポンドによって一部相殺されました。

公正価値の上昇による利益と減損の戻入の内訳は、損益を通じた正味公正価値の上昇による利益 8,800 万ポンド(2010 年: 5,000 万ポンドの利益)と、減損の戻入 3,100 万ポンド(2010 年: 1 億 9,100 万ポンドの繰入)です。資産別では、商業用モーゲージの 1 億 1,500 万ポンドの利益(2010 年: 8,700 万ポンドの損失)、米国の住宅モーゲージの 1,700 万ポンドの損失(2010 年: 1 億 4,000 万ポンドの損失)、その他信用市場の 1 億 6,900 万ポンドの損失(2010 年: 8,600 万ポンドの利益)、裏付けとなる資産の価値の上昇に伴うプロティアム社に対する貸付金に対する減損の戻入 1 億 9,000 万ポンド(3 億 700 万ドル)でした。

バークレイズ・バンク・ピーエルシーは 2011 年 3 月 21 日に、不動産ローンの一部を、商業用モーゲージの REIT であるクレクサス・インベストメント・コーポレーション社に売却することで合意したと発表しました。2011 年 4 月に 5 億 3,000 万ドル相当の不動産ローンの売却が完了し、残る 1 件のローンが 5 月に完了する予定です。

1 エクスポージャーの大部分はレバレッジド・ファイナンスを除き、米ドル建てで保有しているため、上表には米ドル建て及び英ポンド建ての両方で記載しています。  
2 2 億 5,900 万ポンドの未実行与信枠を含みます(2010 年 12 月 31 日現在: 2 億 6,400 万ポンド)。

## 2011 年度第 1 四半期経営報告書 別紙 3 – バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

### プロティアム社

2009 年 9 月 16 日にバークレイズ・キャピタルは、信用市場資産 50 億 8,700 万ポンド(83 億 8,400 万ドル)を含む 74 億 5,400 万ポンド(122 億 8,500 万ドル)の資産を、新設ファンドのプロティアム・ファイナンス・LP 社(Protium Finance LP、以下「プロティアム社」)に売却しました。当取引の一環として、バークレイズは 126 億 4,100 万ドル(期間 10 年)の貸付をプロティアム社に対して実施しました。

2011 年第 1 四半期は、プロティアム社からの 9 億 3,300 万ドルの元本返済と 9,000 万ドルの利払いが、未収利息と減損戻入によって相殺されたため、プロティアム社への貸付金はドルベースで 6 億 3,600 万ドル減少しました。2011 年 4 月には 5 億 7,200 万ドルの元本返済と 8,200 万ドルの利払いにより、プロティアム社への貸付金残高はさらに減少しました。

貸付金の元本返済と利払いは契約条件に従って実施されています。しかし、予想実現時期の再評価を受けて、2010 年 12 月 31 日以降、貸付金は裏付けとなる担保の公正価値に相当する額が計上されています。この結果、2010 年 12 月 31 日現在、8 億 2,400 万ドル(5 億 3,200 万ポンド)の減損が認識され、その後 2011 年に 3 億 700 万ドル(1 億 9,000 万ポンド)の減損戻入が行われました。

| プロティアム社        | 2011 年   | 2010 年    | 2009 年   | 2011 年   | 2010 年    | 2009 年   |
|----------------|----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|
|                | 3 月 31 日 | 12 月 31 日 | 9 月 16 日 | 3 月 31 日 | 12 月 31 日 | 9 月 16 日 |
|                | 現在       | 現在        | 現在       | 現在       | 現在        | 現在       |
|                | 百万ドル     | 百万ドル      | 百万ドル     | 百万ポンド    | 百万ポンド     | 百万ポンド    |
| プロティアム社の資産     | 10,248   | 10,884    | 12,535   | 6,393    | 7,028     | 7,605    |
| プロティアム社に対する貸付金 | 10,248   | 10,884    | 12,641   | 6,393    | 7,028     | 7,669    |

プロティアム社の資産には、ローンの担保として同社が保有するすべての資産が含まれています。2011 年 1 月にモノライン保険会社 1 社との契約の早期解消を行ったため、モノライン保険会社への依存はなくなりました。2011 年 3 月 31 日現在、米国の住宅用及び商業用モーゲージ担保証券並びにローン担保証券は 84 億 3,200 万ドル(2010 年:89 億 9,000 万ドル)でした。2011 年 3 月 31 日現在の現金及び現金同等物は売却及び一部償還に伴う現金、並びに第三者資産購入可能資金を含め、11 億 4,900 万ドル(2010 年:13 億 6,400 万ドル)でした。2011 年 3 月 31 日現在のその他資産は、プロティアム社が設立後に購入した住宅用モーゲージ担保証券、その他の資産担保証券を含め 6 億 6,700 万ドル(2010 年:5 億 3,000 万ドル)でした。

2011 年 4 月、バークレイズはプロティアム社に対する第三者投資を 2 億 7,000 万ドルの簿価で取得する契約を締結しました。これ以降、バークレイズは同社のリスク及びリターンのおお半に對するエクスポージャーを有しており、これは当グループに連結計上されます。経営管理に係る再編の交渉も詰めの段階にあります。この再編では、バークレイズがプロティアム社のジェネラル・パートナーの持分を額面価額で取得し、プロティアム社の投資運用会社である C12 が保有する残りの持分は 8,300 万ドルの対価で買戻されます。これは当該日までの投資パフォーマンスをベースとして、原契約に基づき支払われるべき成功報酬に沿ったものです。これにより、バークレイズはプロティアム社の単独所有者となります。当取引は 4 月末までに完了の予定です。C12 は引き続きこれらの資産に関する運用サービスをバークレイズに提供します。また、当取引の結果、プロティアム社に対する貸付期限は 2014 年 6 月 15 日に短縮されます。プロティアム社の支配権取得は当グループがプロティアム社に対するエクスポージャーの早期解消とリターンの改善を促進する上での助けとなります。貸付金の減損はプロティアム社の純資産価額を参照して既に算出されているため、損益及びのれんが発生することはありません。当取引の一環として、プロティアム社への貸付金の返済手取金 7 億 5,000 万ドルは、C12 が運用する既存のファンドであるハリックスに投資されます。これによりファンドの持分が過半数となるため、取引完了時に当グループに連結計上されます。

## 一部の国々に対する当グループのエクスポージャー

下表は、現在投資家の皆様が高い関心を寄せている、当グループの一部の国に対するエクスポージャーに関して説明しています。この表は、ユーロ圏における信用格付けが「AA」以下 1 で当グループのエクスポージャーが 5 億ポンドを上回る国々、及び信用格付けが「BB」で、当グループが高いプレセンスを確立しているエジプトで構成されています。

残高は、各国におけるリテール及びホールセール顧客（コーポレート及びソブリンで構成される）に対する当グループのエクスポージャーを表しています。資産はトレーディング負債のポジションを控除しておらず、リスク軽減前の数字となります。ただし、減損引当金並びにデリバティブ取引のカウンターパーティ・ネットティング及び保有担保控除後の数字で記載されています。公正価値で保有する資産は、主にトレーディング・ポートフォリオ資産（流動性が極めて高い資産）、高格付債券の売却可能ポジション、及びデリバティブから構成されています。

| 2011 年 3 月 31 日現在     | 貸付金<br>(償却原価により評価) |                     |                 | 公正価値で保有する資産 |                 | 偶発債務及び<br>契約債務 |                     |
|-----------------------|--------------------|---------------------|-----------------|-------------|-----------------|----------------|---------------------|
|                       | リテール<br>百万ポンド      | ホール<br>セール<br>百万ポンド | うち政府向け<br>百万ポンド | 合計<br>百万ポンド | うち政府向け<br>百万ポンド | リテール<br>百万ポンド  | ホール<br>セール<br>百万ポンド |
| スペイン                  | 19,470             | 6,432               | 98              | 10,010      | 8,051           | 1,330          | 2,728               |
| イタリア                  | 16,889             | 3,107               | -               | 10,865      | 8,912           | 1,107          | 2,482               |
| ポルトガル                 | 5,776              | 2,736               | 27              | 2,677       | 1,425           | 1,403          | 1,610               |
| アイルランド                | 136                | 3,793               | -               | 2,863       | 395             | 2              | 2,066               |
| 中東&北アフリカ <sup>2</sup> | 1,619              | 4,924               | 1,365           | 2,776       | 1,752           | 449            | 2,219               |
| 以下を含む:<br>エジプト        | 255                | 566                 | 113             | 833         | 794             | 47             | 773                 |

ユーロ圏諸国におけるリテール顧客に対するエクスポージャーは、主にスペイン、イタリア、ポルトガルにおける国内貸出で、主として住宅モーゲージに関連するものでした。スペインとイタリアにおける当グループのモーゲージ貸付の信用力は担保掛目 (LTV) の低い貸出を反映しており、2011 年 3 月 31 日現在の平均的な時価評価による LTV は、スペインが 56%、イタリアが 46% でした (2010 年: それぞれ 58% と 45%)。第 1 四半期において、信用リスクの高いローンの残高は、スペインでは 18% 増の 9 億 8,100 万ポンド、イタリアでは 10% 増の 6 億 900 万ポンドとなりました。

ユーロ圏諸国におけるホールセール顧客に対するエクスポージャーは、中小企業向け、コーポレート及びインベストメント・バンキング関連の広範な業務を含む、スペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランドにおけるパークレイズ・キャピタルとパークレイズ・コーポレートの業務、並びにリテール・アンド・ビジネス・バンキング—欧州の財務運用によりこれらの国で保有されているソブリン及び社債に関するものです。貸付金には、不動産及び建設業に対するエクスポージャーがスペインで 26 億 9,900 万ポンド、ポルトガルで 6 億 8,100 万ポンド、アイルランドで 2 億 900 万ポンド、イタリアで 1 億 7,400 万ポンド含まれています。

当グループの中東及び北アフリカに対するバランスシート上でのエクスポージャーは約 90 億ポンドであり、これにはエジプトに関連するエクスポージャー 17 億ポンドが含まれています。当グループのエジプトに対するエクスポージャーの大部分は、満期 1 年未満の国債の形で保有する売却可能資産です。

1 スタンダード・アンド・プアーズの格付けによる。

2 世界銀行の定義による。